



慶應義塾大学ビジネス・スクール

株式会社あきんどスシロー (A) — 経営陣による株式取得 (MBO) —

5

外食業界について

市場規模 22.9 兆円（2011 年みずほコーポレート銀行産業調査部推計）といわれる外食産業であるが、長期的には、人口減少や少子高齢化が進む日本において、市場の縮小、市場が飽和することによるマーケットシェアの奪い合いも予想されている。2011 年の外食チェーン企業全体の全店売上高は、震災マインドによる購買意識の冷え込み、夏のイベント自粛や天候悪化などのマイナス影響で、前年比 -1.2% となり、外食業界各社の 2012 年度決算は大変厳しい状況にあった。外食支出（世帯 1 人あたり）は減少の下げ止まり感を示しているものの、全般的に右肩下がりの外食不況の状態が続くことが予想されている。

また、業界内においては、牛丼業界に代表されるように、「安さ」を売りにした企業が増えてきている。その結果、「安さ」は消費者にとって当たり前になってきていることから、業界内でも新たな競争の軸が求められてきている。

10

15

15

20

回転寿司業界について

もともと日本人に慣れ親しまれてきた寿司であるが、かつては敷居の高い高級料理であった。回転寿司の歴史は古く、1958 年には最初の回転寿司が誕生したと言われている。回転寿司業界も、他の外食業界と同じく日本経済の拡大に伴って成長を遂げることになる。その後、バブル経済の崩壊に伴う日本経済の停滞という逆風に外食業界全体がさらされながらも、数少ない成長を遂げている業界が回転寿司業界である。回転寿司は手軽で身近な食事として、現在では特にファミリー

25

本ケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール准教授 村上裕太郎監修のもと、遠藤 啓、小澤美月、佐々木俊介、新倉理人、平田 健、水野順子、若松孝夫（すべて M35 期生）が公表資料および取材によって、クラス討議の資料として作成した。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 村上裕太郎、遠藤 啓、小澤美月、佐々木俊介、新倉理人、平田 健、水野順子、若松孝夫（2012 年 12 月作成）